



2議委第71号
令和2年12月8日

南会津町議会
議長 室井 嘉吉 様

南会津町議会文教厚生委員会
委員長 大桃 英樹



委員会調査報告書

本委員会所管事務調査事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

調査事件 町立小中学校訪問

調査日時 令和2年11月20日（金）

調査場所 桧沢小学校、荒海小学校、田島小学校、田島第二小学校、館岩小学校、伊南小学校、南郷小学校
荒海中学校、田島中学校、館岩中学校、南会津中学校

目的 学校施設の状況について

- ①新型コロナウイルス対策について
- ②困っていること、要望などについて

出席者 大桃英樹委員長、丸山陽子副委員長、五十嵐芳道委員、室井英雄委員、楠正次副議長

随行員 星英雄教育長、星彰主査

◆調査

学校訪問を行い、学校施設の状況、児童、生徒及聞き取り調査、調査票により現状把握を行った。

1. 学校施設の状況

建設から長年経過している校舎、施設が多く、今後維持管理に多くの費用を要していくことを予想。各学校の状況については別紙「別紙1 各校の状況」のとおり。

安全性を最優先に考慮し、緊急性を3段階で評価した。各校共通事項としては、敷地内に多数ある樹木が老木化しており、幹や枝が折れやすい状況にある。学校では保護者に協力いただき剪定や伐採を行っているが、作業に危険が伴う場合があるため、「A」とした。

館岩中学校の校舎屋根は劣化により冬季間雪庇が大きくせり出し、危険な状況であるため早急な対応が必要。南会津中学校の道路修繕が必要な箇所についても補修が必要と判断。田島小学校、桧沢小学校の屋根の劣化については、危険性は少ないものの、計画的に修繕していくことが好ましい。また、プール、濾過器の老朽化も各校共通して見られた。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症は学校運営にも大きな影響を与えている。各校の状況は「別紙2 新型コロナウイルス感染症対策と課題」のとおり。

子どもたちを感染から守るため、机と机の距離を空けたり消毒を行ったり、教職員の負担も大きい。さらに、運動会や修学旅行など学校行事の取りやめや開催の形態の変更もあり、児童生徒、保護者の不安も大きかったことが窺える。しかし、その中でも教職員の創意工夫、保護者の協力により子どもたちは安全に学習していることがわかった。その一方で、感染症に対する不安、今後懸念されることも確認された。

◆所見と総括

学校施設は建設から多年が経過し、今後維持管理に多くの資源を投資していくことになる。各校の状況や教育長のお話から、危険性や緊急性の観点で対応していることがわかった。今後、公共施設等総合管理計画と合わせ、計画的な修繕や補修を行っていく必要がある。

学校の樹木については学校の風景、卒業生や地域の方の思い入れに配慮するケースが多くあり、危険性を情報発信していくことが肝要と考える。

新型コロナウイルスの感染拡大により、学校運営にも大きな影響が出ている。感染拡大を防ぐため、各校でさまざまな対応が取られていた。マスクの着用、手洗いうがいの励行、消毒の徹底、小まめな換気やソーシャルディスタンスなど、感染拡大防止策を徹底して実践している。

桧沢小学校、館岩小学校では少人数教育、オープンスペースの校舎の利点を活かした机の配置、授業の進め方を実践し、伊南小学校ではより実効性のあるマニュアル作りを行い、適宜改訂し、保護者との共通理解を深めているという取り組みもあった。中学校では、生徒自ら考え守るという考え方をもとに携帯型消毒スプレーを貸与しているという事例もあった。

また、修学旅行先を東京や大阪方面から変更し、県内や岩手県方面など、感染が少ない地域を選択し、より安全な旅程を確保した。行き先の変更から新たな学びの気づきもあったとの感想を複数の学校から聞かれた。大きな影響はあっても、状況から学ぶこと、視点をえて見えてくるものがあることを私たちは学ぶべきであり、学校の運営から事業実施に活かす点があることが分かった。今後もコロナ禍は続くことから文教厚生委員会でも状況把握に努めるとともに、各学校の取り組みが共有され、子どもたちのより良い学習環境情勢を目指して調査いくこととした。

【別紙1】各校の状況

小学校

学校名	要望項目	緊急性	備考
桧沢小	校舎・屋根塗装の劣化	B	
	老木の剪定	A	
	教室の仕切りカーテン	B	
	複式学級の照明増設	B	
荒海小	校舎周辺樹木の伐採（桜の木）	A	
	プール濾過器老朽化	B	
田島小	体育館の雨漏り	B	
	体育館照明のLED化	B	
	プール濾過器老朽化	B	
	校庭、プールへのサルの侵入	A	
	雨天時、校庭へ上がる階段へ浸水	B	
	給食施設の老朽化	B	
	特別教室への冷房機器設置	B	
田島二小	プールの老朽化	B	
	校地内の樹木の伐採。老木成長し過ぎ	A	
	校地外の樹木伐採後の管理	B	
	サルやクマ対策	A	
館岩小	教員住宅の温気対策	A	
伊南小	玄関のタイルの剥がれ	B	
	ストーブ不調、エアコンで対応	B	
南郷小	多目的ルーム西陽対策（カーテン、ブラインド）	B	
	校庭樹木の剪定、伐採	A	
	特別教室への冷房機器設置	B	

中学校

学校名	要望項目	緊急性	備考
荒海中	校舎前駐車場の整備	B	
	廣野さんとのお話できる関係性の維持		
田島中	プール脇の樹木の剪定	A	
	中庭樹木の伐採	A	
	校舎周りの柵の塗装、交換	B	
	部室施設屋根、扉の老朽化	B	
マ岩中	校舎屋根の劣化により、冬季雪庇ができ危険	A	屋根塗装と防水シートの改修必要
	体育館の内壁、床材、外扉の改修	B	
南会津中	プール前の路面修繕	A	
	校庭表土の整備	B	
	校庭樹木の剪定・伐採	A	
	特別教室への冷房機器設置	B	

緊急性 A・・・子どもたちの安全に関わり、急を擁するもの

B・・・安全性は問題はないが、使用に課題があるもの

C・・・現在の使用に問題ないが、将来的に改修等が必要なもの

*記載の事項は、今回の調査で学校に回答いただいた要望と聞き取り調査をもとに記載しました。

*校庭や敷地内の老朽化した樹木、大きくなり過ぎた樹木については、どの学校でも見られることからAとしました。

*プール濾過器の老朽化についても共通の課題であることから、計画的な改修が必要と考えます。

【別紙2】新型コロナウイルス感染症対策と課題

小学校

	工夫していること	困っていること
桧沢小	オープンスペースを活かした授業の実施	スキー教室の開催について
	修学旅行、宿泊学習をさいたま市立館岩少年自然の家で実施	
	運動会をスポーツ集会として児童のみで実施	
	学習発表会の観覧は各家庭2名までに制限	
	授業参観は分散開催	
	給食は学年別に実施	
	SSS(スクールサポートスタッフ)による消毒	
館岩小	SSS(スクールサポートスタッフ)による消毒	冬季に向け、換気による感染リスク低減の必要性
	オープンスペースを活用した授業の実施	換気による燃料費不足の懼れ
荒川小	SSS(スクールサポートスタッフ)による消毒	
田島小	マスクの着用、手洗いうがいの励行、消毒の徹底	教室が狭く、人数が多いため密になるケースがある
	各教室の消毒の実施	
	定期的な換気の実施	
	3密を防ぐ工夫	
	給食は全員前を向いて食事をする	
	運動会中止	
	宿泊学習・修学旅行、場所や内容を変更し実施	
	学習発表会の入場人数制限(一家庭1名まで)	
田島二小	職員室や保護者との面談では透明ビニールを利用	
	マスクの着用、消毒、可能な限り距離をとっての机の配置	冬季間の換気(休み時間ごとに実施)
伊南小	人が集まる機会は必要最低限にし、保護者と話し合い	
	より実効性のあるマニュアルを作成し、保護者にも周知	スクールバス時刻がSSSの勤務時間終了時刻と同じであるため、現状では消毒作業を勤務時間外に行っている。スクールバス時刻を見直していただきたい
	SSS(スクールサポートスタッフ)による消毒	
南郷小	対策費で各種パーテーション、大型モニター、スポットエアコンを購入	

中学校

	工夫していること	困っていること
田島中	対策費で職員玄関にサーマルカメラを購入	南校舎2階の手洗い場の不足
	SSS(スクールサポートスタッフ)による消毒	
	夏季は教室の扉を撤去、冬季はこまめに換気	
	マスクの着用、手指消毒の徹底	
	給食の配膳を廊下で実施、距離の確保、前を見て食事	
	修学旅行は岩手県・宮城県方面で実施	
荒海中	文化祭は1日で開催。保護者の観覧なし	
	都度、教育委員会に指導をいただき対応している	想定外の出費があるのではないか
館岩中	職員室内に適宜パーテーションを設置	
	学年ごとの給食実施	
	学校行事では生徒に携帯用消毒スプレーを貸与	
	修学旅行の行き先を変更(いわき方面)	
	文化祭の工夫(地域内在住の保護者のみ参観可能)	
	マスクの着用、消毒の徹底	
南会津中	感染対策を施しながら行事を実施	
	対策費で手指消毒ディスペンサーヤスプレー	
	非接触型体温計、換気対策のためのサーキュレーター、空気清浄機を購入	

- *各校それぞれ国、県、町の通知を元に独自の考え方や手段で感染対策を実施しており、評価されるべき。
- *それぞれの対策を共有し、今後に活かしていただきたい。また、教育現場だけでなく町のイベントや事業でも活用できる。
- *対策費の使い方にも独自の考え方があり、学校の規模によって違うことがわかった。
- *修学旅行をはじめ、学校行事にも大きな影響があったが、新たな気づきもあり今後の学校経営に活かしていただきたい。
- *3密を防ぐための換気の実施により、暖房の燃料費が増加することが予想される。
- *SSSの継続的な雇用は必須と考える。
- *特別教室への冷房設備設置を希望する学校も複数あり、多人数が集まる事のできる教室への設置は今後の検討課題。